

2018年12月1日

課題名：甲状腺クリーゼ：多施設前向きレジストリー研究

◆研究の目的と概要◆

当院は、厚生労働省及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究班が実施する「甲状腺クリーゼ：多施設前向きレジストリー研究」に協力しております。本研究で得られた成果を病気の予防や診断・治療の向上に役立てたいと考えております。

このため、新規に甲状腺クリーゼと診断された方について、調査へのご協力とご理解をお願い申し上げます。

◆対象となる患者さん◆

2018年2月から、2023年1月までの間に、甲状腺クリーゼであると診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、生年月（日は除く）、居住地（都道府県まで）、生活歴、家族歴、既往歴、これまでの治療歴、クリーゼの誘因、身長、体重、体温、意識状態、呼吸数、血圧、脈拍、尿検査・血液検査・心電図検査、心臓超音波検査の結果、治療内容などカルテに記載されている情報。

◆研究方法◆

上記を患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、愛媛大学大学院医学系研究科内に設置したデータ集積管理システムであるREDCapに、適切な管理のもと、オンラインでデータを送信します。調査票の内容は、プライバシー保護のため、個人が特定できないような単なる数字の情報に置き換えて集計します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座 三宅吉博教授が主体となって実施しており、甲状腺クリーゼ患者を診療できる全国の医療機関が参加しています。

研究代表者（研究責任者）：

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座 教授 三宅吉博

研究分担者：

国立保健医療科学院 木村映善

REDCapの統括

愛媛大学大学院医学系研究科統合医科学 助教 田中景子

研究運営の統括

- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
内分泌代謝・リウマチ内科 研究責任者 村部 浩之  
E-mail: kenkyu@kchnet.or.jp (臨床研究センター)

愛媛大学大学院医学系研究科  
疫学・予防医学 研究責任者 三宅 吉博  
Email: epi-prev@m.ehime-u.ac.jp

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明